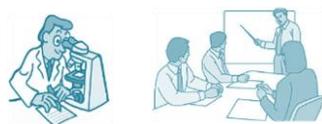


材料工学から見たものづくり人材育成の 課題と展望

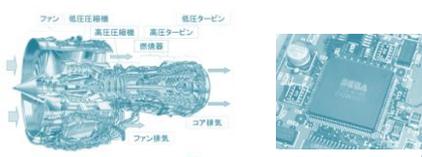


我が国のものづくり技術は国際的に強いと言われ、特に、信頼性の高い製品を効率的に作り出す技術に秀でている。一方で、製造業は製品の付加価値の多様化や社会の要求に合わせて事業の体質を変換させつつあり産業を支えてきた製造技術もハードウェアだけではなくソフトウェアも包含した技術にシフトすべきである。このイノベーションの実現に既存の産業構造が対応できなくなり国際競争力も低下しつつある。我が国のものづくり産業を強化発展させるためには、産学連携によるイノベーションの創出と人材育成が求められる。そのためには、ものづくりのための産学連携、大学・高校におけるものづくり・材料工学の教育を強化すると共に、女子学生、女性研究者のものづくり・材料工学への進出を促進することが喫緊の重要な課題となっている。本シンポジウムではこれらのものづくり人材育成の課題と展望を討論し、我が国のものづくりの将来の発展に資することを目指したい。

平成 29 年 4 月 22 日(土)

13:00~17:15

日本学術会議講堂



FAX(用紙裏面)
またはメールに
て事前にお申
し込みください

どなたでも
参加頂けます
参加費
無料

Programme

●開会の挨拶

日本学術会議会員・将来展開分科会委員長・公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター所長……………中嶋 英雄

●大学における人材育成の課題

芝浦工業大学学長……………村上 雅人

●素材開発・製造業における人材育成の課題

極東貿易((株)顧問、(株)IHI 元副社長……………
……………中川 幸也

●高校における材料工学の知識の普及と啓発活動

—アンケート結果を基にして—

奈良女子大学教授……………吉田 信也

●ポジティブ・アクションの実効性

日本学術会議連携会員・京都大学名誉教授…戸部 博

●材料工学における女子学生、女性研究者・技術者の人材育成

日本学術会議連携会員・豊橋技術科学大学教授……………
……………中野 裕美

●総合討論司会

日本学術会議連携会員・物質材料研究機構特命研究員
……………長井 寿

●閉会の挨拶

日本学術会議会員・東京大学名誉教授……………吉田 豊信

●総合司会

日本学術会議連携会員・東京大学教授……………小関 敏彦

主 催：日本学術会議材料工学委員会材料工学将来展開分科会

共 催：一般社団法人日本鉄鋼協会、公益社団法人日本金属学会、公益社団法人日本セラミックス協会、一般社団法人軽金属学会、日本銅学会、一般社団法人資源・素材学会、一般社団法人塑性加工学会、公益社団法人材料学会、公益社団法人日本バイオマテリアル学会、一般社団法人日本 MRS、一般社団法人溶接学会、公益社団法人日本铸造工学会、一般社団法人粉体工学会、全国材料関係教室協議会、一般財団法人金属系材料研究開発センター

会場

日本学術会議

東京都港区六本木 7-22-34

TEL:03-3403-3793

(アクセス)

東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口



お問い合わせ(参加申し込み)先

公開シンポジウム事務局(若狭湾エネルギー研究センター内) TEL:0770-24-2300

FAX: 0770-24-5605 電子メール:simpo@werc.or.jp

平成 29 年度 日本学術会議公開シンポジウム

材料工学から見たものづくり人材育成の課題と展望 参加申込書

- ・ 本申込書に必要事項を記入の上、FAX または電子メールでお申し込みください。
- ・ メールでのお申し込みの場合、本申込書を添付いただくか、または必要事項をメール本文に記載していただくことでも参加を受け付けます。
- ・ 受付票は発行いたしません。定員に達して参加頂けない場合のみ、ご連絡します。
- ・ 参加申し込み受付期間:平成 29 年 2 月 1 日(水)~4 月 18 日(火)

●お申込み必要事項(複数名のお申込みをいただけます)

| ご氏名 | ご所属(ご所属がない場合は記載不要です) |
|-----|----------------------|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

ご連絡先(参加頂けない場合ご連絡させていただきます)本シンポジウムの目的以外には使用いたしません。

FAX

電子メール